

新たな担い手の確保

■ 栗・(株)えな笠置山栗園 アグリパーク構想で「栗園」体験拡大支援

(株)えな笠置山栗園（以下、栗園）では、アグリパーク重点推進モデル事業に採択され、「働いてもらい方改革」に取り組んでいる。

具体的には、作業工程の整理と分業化を進め、作業フローを整備するとともに、園の管理に必要な道具や機械類を新たに整備し、誰でもスムーズに作業に取り組める環境づくりを進めている。

また、地域の人材マッチングサイト「いいなかマッチ」を活用してボランティアを募集し、5月下旬に初の作業体験として「草刈り」を実施し、2名が参加した。

当日は、作業安全者講習を受講した園の責任者とともに作業内容や安全管理について説明を行い、参加者が安心・安全に体験できるよう支援した。参加者からは「今回初めて草刈り作業に応募した。今後は毬拾いや枝拾いなど、さまざまな作業にも挑戦してみたい」といった前向きな声が聞かれた。

今後も栗の栽培管理に関する作業体験メニューの充実や作業フローの見える化、体験者へのアンケートの実施などを通じて受入体制の改善を図り、農業の新たな担い手の育成を支援していく。

(園芸産地支援第二係)



【草刈り作業体験状況】